

(発行) 聖愛こども園
園長 黒田 恭介

6月主題 「なにか なにか」 (0才児)、
「なんだろう」 (1、2才児)
「かんじる」 (3才児)
「みつける」 (4、5才児)

6月主題聖句 「もとめなさい。そうすれば、与えられる
探しなさい。そうすれば、見つかる」

マタイによる福音書7章7節

先月はすずらん組のお泊り保育がありました。これまで7月に行っていたお泊り保育でしたが、近年の猛暑やその他のことを考慮して5月に行うことにしましたが、とても充実していたと思います。大分空港での学習や杵築市海浜夢公園での自由活動、園に帰ってからのレクリエーションも楽しく過ごすことができました。そのほかに、芋苗植えやウナギの稚魚放流などの活動もありました。ご協力いただいた由布一空会、大分川漁協みなもと支部の皆様には感謝します。これからも神様に感謝していろんな活動をしていきたいと思っています。

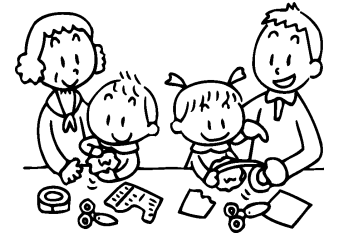
ところで6月の主題聖句は「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる」です。皆さんは、目標をもって前向きに生きている人の姿を見て、かっこいいなと思われたことはないでしょうか？何かを探し求めて生きている人の姿は輝いて見えるように思います。何かを求めていること、また探していることは、生きるということと重なる部分が多いと思います。何もかもすっかり満足してしまっている人や、何もかもすっかりあきらめてしまっている人には、本来の生命の輝きが鈍くなっていることも多いと思います。そう考えると、聖書の御言葉で「求めなさい、探しなさい」と言われていることは貴重なことだと思います。人はどんなに満たされているかと思っているときにも、どんなに望みがないように思えるときにも、自分や隣人の幸せを探し求めなさい、そのように神様が教えてくださっているように思います。

しかも聖書は、ただ求めなさい、探しなさい、というだけでなく、それは必ず与えられる、見つかると言います。それは本当かなあ、と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、人が幸せを求める思いは必ずかなえられます。しかし、思ったとおりにはかなえられるとは限りません。たとえば、子どもが包丁で遊びたいといったら、それを許可する親御さんはいらっしゃるでしょうか。子どもと一緒にするな、と言われるかもしれませんが、大人であっても、実は、自分や隣人の幸せに結びつかないような願望を抱えている場合もあります。神様はその人自身の思いに逆らっても、幸せを求める人に幸せを与えてくださるのです。

よく、子どもたちの姿に元気づけられることがありますが、それはきっと子どもたちが何かを探し求めているからだろうと思います。そして探し求めているものはきっと与えられ、またみつけることができるでしょう。

行事予定

- 6月 3日(火) 保育参観(ひまわり組・ゆり組)
- 6月 4日(水) 保育参観(たんば組・すみれ組)
- 6月 5日(木) 保育参観(ちゅうりっぷ組・すずらん組)
- 6月 6日(金) 合同礼拝
- 6月11日(水) 園児歯科検診(10時から)
- 6月12日(木) 花の日訪問(アドニスホーム)
- 6月13日(金) 花の日訪問(岩男病院・消防署)
- 6月18日(水) 保護者会役員会(19時~)
- 6月19日(木) 避難訓練
- 6月23日(月) プール開き
- 6月26日(木) 誕生会
- ◎ 7月 1日(火) 合同礼拝
- ◎ 7月 4日(金) 夕涼み会ごっこ
- ◎ 7月24日(木) 誕生会
- ◎ 7月31日(木) 避難訓練(起震車体験)



お知らせ

☆ 新入園児(6月)のお友だちを紹介します。仲良くしてあげてください。

ちゅうりっぷ組: 末竹 桜月(すえたけ らら)さん

ゆり組 : KHADKA ANSU(かどか あんす)さん

☆ 給食費・保育料の口座振替をご希望の方は事務室まで気軽にお声かけください。

☆ 本園には、保育コーディネーターとして大分県より認定された日野ますみ保育教諭・今給黎香保育教諭が勤務しております。保育コーディネーターとは「特別な配慮が必要な児童や家庭に応じた専門的な支援を行うとともに、関係機関と連携・協働して、適切な時期に適切な支援につなげることができる専門的保育者」(大分県HPより)です。子育てのお悩み事があれば、お独りで悩んだり抱えたりすることなく、ぜひ保育コーディネーターにご相談ください。

☆ 園の駐車場の車の止め方についてですが、できるだけ多くの車が止められるように真っ直ぐに停めていただくようお願いいたします。また、子どもの飛び出しには十分ご注意ください。子どもたちが走り回ったりするのは大変危険ですので子どもたちから目を離さないように十分な配慮をお願いいたします。

☆ 【花の日・こどもの日】について・・・1856年にアメリカのマサチューセッツ州のレオナルド牧師が、6月に子どものための集会を開いたのが発祥とされています。1866年には、6月第2日曜日を「こどもの日」として記念することをメソジスト教会が正式に決定しました。信徒たちが各家庭から持ち寄った花を教会に飾り、礼拝後、それらを子供たちに持たせて病院などを慰問する習慣が定着しました。

☆ 毎週日曜日、午前9時から9時30分まで子どもたちの礼拝を行っています。静かな朝、神さまの愛と祝福を受けるひと時を過ごしてみませんか。関心のある方は、黒田牧師までご連絡下さい。